2012年度
関西学院大学ロースクール
C日程

一般入試（法学既修者）

刑事訴訟法 問題

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【刑事訴訟法 問題】

暴力団A組組長Xは対立抗争中の暴力団B組組長Yを殺害したとの殺人罪の訴因で起訴され、審理中である。検察官が証人尋問の請求をしたA組組員Zは、公判期日には出頭したものの、証言拒絶権を行使して何も証言しなかった。そこで、検察官は、捜査段階でZを取り調べて作成していた検察官面前調書（以下、検面調書という）を証拠調べ請求した。Zの検面調書には、「Yが殺された日の夜だった。Xが私の家に来て、『B組との縄張り争いを話し合いで解決するために組長のYと自分と二人だけで会ったが、話し合いがこじれてYと殴り合いになり、持っていた匕首で刺し殺してしまった』と私に話した」という旨のZの供述が記載され、Zの署名押印があった。被告人Xの側は検面調書を証拠とすることに同意していない。

XのY殺害行為を立証するための証拠として、Zの検察官面前調書に証拠能力は認められるか。認められるとした場合、どのような要件の下においてか。